

令和7年度九州沖縄農業試験研究推進会議果樹推進部会
九州沖縄果樹研究会 開催要領

九州沖縄農業試験研究推進会議果樹推進部会長
農研機構九州沖縄農業研究センター 九州沖縄果樹研究調整役

1. 趣 旨

九州沖縄地域における果樹に関する研究を推進するため、果樹推進部会における重要検討問題の検討結果を踏まえ、それらの技術シーズについて情報の共有をはかることを目的に研究会を開催する。

そこで、今回の研究会では、R7年度の重点検討事項とした「極端化する気象変動に対応した果樹栽培技術の開発」に関連し、極端化する気象要因による果樹の生育や果実品質への影響を緩和するための技術開発に焦点をあて、AIを活用したスマート農業技術の研究開発状況について考える。また、各県から重点検討事項に関連する課題、および「今後の果樹産業の活性化、収益性向上に資する技術シーズ、今後の発展が期待される研究成果 等」について話題提供いただき、また今年の冬期～春期にかけての気象の影響状況、今後想定される栽培管理上の対策について情報共有、意見交換を行う。

2. 日 時：令和7年5月28日（水）13：30 ～ 5月29日（木）13：30

3. 場 所：唐津市民交流プラザ（佐賀県唐津市津市南城内 1-1）

4. 参集範囲：

九州・沖縄地域試験研究機関・行政普及部局、大学、団体等の関係者、農研機構、その他果樹推進部会長が必要と認めたもの

5. 日程の概要：

1) 研究会 ： 5月28日（水）13：30 ～ 17：00

場所：唐津市民交流プラザ

（1） 招待講演（九州沖縄果樹試験場長会後援）：

テーマ：果樹におけるAIを活用したスマート農業研究

「果樹でのAIを活用したスマート農業について」（仮）

（三重県 鳥羽商船高等専門学校 白石和章 教授）

（2） 県からの話題提供 （4課題）

（3） 果樹生産状況に関する意見交換

「九州各県での冬期の気象と発芽期～開花期の状況および今後の懸念、対策について」

2) 現地検討 : 5月29日(木) 8:30 ~ 13:30

場所: 唐津市および伊万里市生産者園

唐津: ハウスミカン、地中熱ヒートポンプ、露地ミカン、S マルチ園

伊万里: 落葉果樹(ナシ)

※ 現地見学の移動には、借り上げバスの利用を想定、昼食後唐津駅で解散

6. 申込期限 : 4月30日(水)

7. 参加申込書(別紙1)送付先

〒845-0014 佐賀県小城市小城町晴気 91

佐賀県果樹試験場 衛藤 友紀

E-mail: etou-tomoki@pref.saga.lg.jp

TEL: 0952-73-2275 FAX: 0952-71-1020

8. 話題提供資料作成と送付先

別途、話題提供者に連絡する。

9. その他